

兵庫県

朝来市内四商工会

特産品十観光で
「合格祈願鍋」



朝来市内四商工会は、大好評だった「あさごぼつかぼつか鍋」に続き、特産品の「岩津ねぎ」などと市内の史跡・富勝神社の絵馬を同封した「合格祈願鍋」を発売した。

「岩津ねぎ」は、日本三大ねぎの一つで、脳を活性化させる成分アリシンを豊富に含んでおり、「合格祈願鍋」

には「あさごぼつかぼつか鍋」の二倍の量が入っている。同封されている絵馬に願いごとを書いて同神社に郵送すれば、祈禱してくれるサービスがついている。価格は、ぼつかぼつか鍋五〇〇〇円、合格祈願鍋六〇〇〇円、銀山釜夫鍋八〇〇〇円、いずれも三〜四人前。

群馬県

みなかみ町商工会

天然木バッグなど七特産品試作



商工会（小野里光敏会長）は、天然木を加工した特産品の開発に取り組んでおり、昨年秋、バッグやいすなどを試作した。厚さ〇・一ミリ、幅約一〜二センチにスライスし、染色した天然木を編み込み、Zelmaと名づけた独自ブランドを立ち上げたが、「木を使って

いる印象が弱い」という声があったことから、今年は染めずに新たな試作品を製作した。

バッグ、カードケース、財布など七種、約一〇〇個の新試作品は、一〜二月に町民に実際に使ってもらい、デザインや使い勝手についての意見をまとめることとした。また、モタリングと宣伝を兼ねて町内のホテルや旅館にも展示してもらい、宿泊客の反応を聞く。

商工会では、「フナヤキリと皮革を組み合わせ、木のぬくもりが感じられる製品にしたつもりですが、今年度内に意見や反応を分析し、売れる商品、買ってもらえる商品づくりをめざしたい」と意気込んでいます。

山形県

寒河江市商工会青年部

スイーツで広がる若者の輪

若い世代で地域活性化を図ろうと、二〇〇九年度から「想×創プロジェクト」に取り組んでいる寒河江市商工会青年部（佐藤弘康部長）は、十二月十二日、活動の一環として、市内のホテルで若者の交流パーティー「S.A.G.A.Eスイーツストリート」を開いた。

「スイーツも好評で、参加者がいろいろな地域の人と交流できたようです。こういった集まりを通じて人の輪が広がり、寒河江の賑わい創出につながってほしいので、今後も続けたいと思います」と佐藤部長は話している。

東北芸術工科大学と山形短期大学の学生が考案したスイーツを、地元産ワインとともに味わうというパーティーには、二〇〜三〇代の独身男女二二人が市内外から集まった。商工会青年部メンバーの約五〇人は、参加者の中に入って交流の盛り上げや二次会の案内に飛び回った。

ワインは市内の酒造会社が開発した濁りワイン、スイーツは市内の菓子店二店がつくったケーキ



大分県

野津町商工会女性部

吉四六さんと歩く八十八カ所巡り

明治時代末に四国八十八カ所霊場にならって町内全域に作られた札所を歩く「吉四六さんの八十八カ所巡り」が、商工会女性部（安藤圭子部長）主催で行われた。

札所を町の観光名所にしようと、三年前から女性部が行っているもので、とんち話や焼酎の名でも全国に知られる「吉四六さん」（野津町の実在の庄屋・廣田吉右衛門がモデルと伝承されている）と、奥さんのおへまさんが先導して歩くイベント。

今回は南野津小学校を発着して札所九カ所を巡る八・五キロのコースを選んだ。開会式では安藤部長のほか、中島商工会会長や中野五郎市長が挨拶し、参加者約七〇人は女性部が手作りした杖を手に、晩秋の景色を楽しみながら歩いていた。